

平成29年度香川大学入学式 学長告辞

すべての生命が喜びを謳歌するこの春の日、香川大学へ入学を許可された1,326名の新入生の皆さん、誠におめでとうございます。

香川大学の教職員を代表し、皆さんの入学を心から歓迎いたしますとともに、ご家族及び関係者の皆様方にもお祝いを申し上げます。

これから始まる新しい大学生活を思い、目を輝かせ、意気揚々としている皆さんを見てみると、我々も心躍ります。

さて、皆さんはこれから迎える新しい大学生活をどのように描いているのでしょうか。それぞれに学修したい分野を決め、さらに将来の夢を育み人生を豊かにするために胸を膨らませていることでしょう。

大学で学修するという事は、皆さんが手に入れた人生の中で最も自由に使える時間を存分に駆使して、各自の“知”“情”“意”を伸ばすために自己鍛錬することなのです。私の敬愛する文化勲章受章者・末松安晴

氏は、“知”とは先人から受け継いだ知識や深い思考から生まれる知恵、“情”とは他の人への思いやり、“意”とは人の行動や活力の源を指しており、誰しも絶えず学修し、長い時間をかけてようやく手に入れるものであるとされています。

大学は、学術的な基盤を学び（教養教育）、新しい分野を耕す（専門教育）訓練を受けるのみならず、長い期間勉学に打ち込むことで、社会に出てからの人生のために心の整理をするところなのです。

先輩たちがそうであったように、在学中には誰しも心の奥深いところで、明るい希望と暗い悩みを抱き、先が見えないことから苦しみ悩まされ、その解決に長い時間を要するのです。

ブッダは、誰もが持っている悩みは、自己中心主義のせいであり、他の人のためになるように振舞えば自己中心主義から放たれると言っています。自己ではなく他者に思いを馳せる、一見回り道に見える不合理の世界に足を踏み入れなければ、“知”“情”“意”は育めないのです。

皆さんもご存知のとおり、今、世界情勢は刻々と変化

しています。皆さんが生きていくこの21世紀は、これからどこに向かっていくのでしょうか。予測困難な事象が多発し、将来を見通すことがますます難しい時代へと突入しています。しかし、このような時代こそ、大学時代の時間を、“知”“情”“意”の修得に力を注ぎ、社会に出ても良好な人間関係を構築できる人材に育ててほしいと願っています。

自己啓発をしながら積極的に他者と協調し、意思疎通を図り社会的付加価値を創造する力を“人間力”と言います。

社会人として必要な人間力は、知識伝授型ではなく、議論、アクティブラーニングなどによって、学生が自分で考え、動き、学生同士で討論し、未知の事柄について考え抜くような訓練で達成されるのであって、それは大部分が教育の現場で涵養されると言われています。

その点で私が最近気になっていることをお話しします。

皆さんはスマホを身近に置き、生活の一部になっている人もいるでしょう。確かに容易に多くの情報を得、また発信することで生活の利便性や交友関係も拡大すると

思います。

過日、ある集まりで奇妙な光景に出会いました。10 数名の若い女性のコーヒータイムの雰囲気でしたが、全員が黙ってうつむきスマホを操作し、それに夢中になって、何とも理解しがたい静かな雰囲気に随分戸惑いを感じました。グループで集まるのなら、何故わいわいがやがやお互いの顔を見て言いたいことを言わないのでしょうか。スマホは入力する字数が限られ、それを補うために笑い・涙・ハートその他のマークを入れられるようになっていきます。とても真の人間としてのお付き合いのツールになるとは思えません。不完全あるいは誤解による情報伝達ミスのために、多くの社会問題が起こっているのは承知のとおりです。

顔を合わせて話すということは、会話中の相手の表情や雰囲気を感じ、目を見つめ、阿吽の意思疎通をする、人がお互いを理解する最良の手段だと思います。せめてキャンパス内で大学生活を過ごす時は、スマホをやめて会話を楽しみ人間関係を築く生きた時間にしてください。

さて、香川大学では意欲のある学生にあらゆる学修の

機会を用意しています。後でガイダンスがありますが、学部の枠を超えて学生が主体的に学習する「香川大学ネクストプログラム」や「香川大学アドバンスト・セミナー」そして、学生自らが発案・企画実行する「香大生の夢チャレンジプロジェクト」などにも、ぜひ参加してみてください。学修環境では、図書館のラーニングコモンズやOLIVE SUAQREの学習ラウンジやイングリッシュカフェなど、数多くの学修スペースも整備しています。

大学生活ではいろいろな時間の使い方があります。皆さんの若いエネルギーを存分にこの香川大学で発揮させ、尊敬する師、良い先輩、心を分かち合う親友に巡り合ってください。

結びに、皆さんがこの伝統ある香川大学の学生として自信と誇りを持って将来、世界・地域をリードしていく人材となることを心から期待し、私の告辞といたします。

平成29年4月3日

香川大学長 長尾 省吾